



第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1
Tel 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>
なやみごと相談メール j3-3chu@wako-city.ed.jp 相談室 TEL461-6698

令和6年1月9日発行

『適する言葉(コミュニケーション)』について

校長 近藤 克代

新しい年を迎えました。しかし、新年早々に飛び込んできた、遠く能登半島での出来事に、心痛めた方も多くいらっしゃったのかと思います。私もその一人であり、被害にあわれた方々へ、お見舞いとお悔やみの念を抱きながら、初詣に出かけた際、一日も早い復興を今年の祈願の一つとしました。

さて、左の写真は令和6年1月3日の校舎の写真です。美しい青空と、白い校舎と体育館（※白黒印刷で配付されるので色彩についてはHPでご確認下さい）。毎年、冬休みが明けた初日に校舎の写真を撮影していますが、今年の校舎には生徒昇降口の整備にスロープ設置、そして、この写真には写っていませんが、4階建の生徒棟の裏には薄いベージュ色をした2階建ての新校舎が姿を現しています。学校関係機関の始まりは4月なので新年度を迎えるまで少し時間がありますが、この写真から、これから始まる新しい様々な取組の挑戦に期待が膨らむと同時に、普段通りに3学期を迎えられたことに感謝をしています。

ところで、ある雑誌に文学博士と女性芸人との対談で、「人とうまくいく話のコツ」というテーマで、話をしている内容の記事を読みました。その中のほんの一部をご紹介しますと、『事実⇒影響⇒感情』の順番で話をするとうまくいくという内容でした。例えば、感謝を伝えたいときに“手伝ってくれてありがとう（事実を述べる）”⇒“きれいになった！（自分や周囲の影響・状況を述べる）”⇒“うれしい！ありがとう（影響や状況を受け、自分の感情を述べる）。”この記事を読んだとき、学級内（授業中など）での生徒同士のやりとりだけではなく、生徒と教員、教員同士のやりとりや、ご家庭内でのお子様と保護者様のやりとり。学校内での教職員と保護者・地域のやりとりなど、様々なシーンが想像できました。一方、別の雑誌の記事には、人とのコミュニケーションが時代とともに変化しているという内容で、対面による会話より、端末等を利用しメッセージで文字や絵を活用したやり取りの方を好み、さらに、電話での会話を苦手とし、かかってきた（固定）電話を取ることに嫌がる傾向が強いという記事の内容でした。時代の流れや、対象とされる年齢による習慣や感覚の違いも背景として考えられるかもしれませんが、これらの記事には『適する言葉』の使い方について考えさせられました。そして、「言葉」を主として扱う全ての学校教育活動において、生徒が正確に事実を伝え、相手の意見を聞き正しく判断できるよう、『適する言葉（コミュニケーション）』に気づき、失敗を恐れずやってみよう（表現してみよう）とすることが、これからの新しい時代に生きていくために必要な力の一つではないかと、記事を読み改めて感じました。

最後に、今年も「気づき・考え・挑戦する～新時代を生きる力を創造する～」学校目標の実践を目指し教職員と共に努めてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

